

アイズロボ 株式会社

生産現場のお困りごとを 産業用ロボットで解決

- 納期相談
- 企画力自信有
- コスト相談
- オンライン技術



AGV ROBOは 生産現場で稼働中



移動型協働ロボット「AGVロボ」などを独自開発

主な事業内容

産業用ロボットの
企画・設計・製作

主な取引先(納入先)

自動車、住宅機器、医薬品、
食品などのメーカー

主な製品

産業用ロボット、ロボットを
活用した自動化装置、AGVロボ

業務内容 移動型協働ロボで 高い評価

アイズロボは、顧客ニーズに即したロボットシステムの設計・構築から導入・運用までを担う専門業者。人手不足に伴う自動化ニーズを背景に、人と同じ作業空間で運用できる協働ロボットへの関心が高まっており、これを中核としたシステム提案で定評がある。その一環で開発したのが、無人搬送車（AGV）に協働ロボットを搭載した「AGVロボ」であり、3次元補正技術の搭載により高い停止精度を達成した。これが評価され、令和5年にはファナック主催の「ロボット・グローバル・パートナー・オブ・ザ・イヤー2023」で「アプリケーション部門賞」を受賞した。

強み 挑戦と失敗で得た ノウハウと提案力

社名は、英語で「A i z R o b o」と表記する。AからZまですべてを一貫して提供するという意が込められており、システムの設計・構築からテイラーチング（教示）、ユーザー企業への操作説明まで対応する。また、少人数ながらも機械設計や電気設計、溶接および製缶加工など各分野の専門スタッフを抱えるのも魅力だ。

システムの提案の際には、顧客ニーズを丁寧ヒアリングし、必要とあれば、デモ機でのシミュレーションや自

社で保有する実験用ロボットによる事前検証を行う。AGVロボは、工場や倉庫内を移動してワークを加工機に供給したり、完成品を取り出して棚に収納したりするなど主にマテハン用途で利用される。また、各現場の要件に合わせて最適なハンドを自社開発してあり、多様なロボット開発で培ってきたノウハウが生かされている。久保光男社長は「これまでの挑戦と失敗から得た提案力には自信がある」と胸を張る。

将来 近づける 人のような動作に

2010年代半ば以降、3次元ビジョンセンサの普及によりロボットによるバラ積みピッキングが当然のように行われるようになった。同社では、2次元カメラと3次元ビジョンセンサを搭載した「IRビジョン」により製品の良品判定や3次元位置補正に役立てるなど、さらに一歩進んだビジョンセンサの活用方法を提案。作業現場で人の手の動きを人念に観察し、動作要素を抽出することでシンプルかつ汎用性の高いハンドを実現。さらには、他社が断念した複雑な手作業の自動化も達成するなど、ロボットの「目」と「手」に相当する高い技術を保有し、各工場での人手不足の解消に役立っている。

社名のAとZの間にある「i」は、「愛」や「eye（目）」を意味し、愛や目を持つ人のようなロボットをめざしている。

社長あいさつ



代表取締役
久保 光男さん

労働者を減らすという考えではなく、新たな価値を生み出し、顧客の期待を超えるロボットやシステムを感動とともに提供する企業をめざしています。今後の日本経済を支える技術者を育て、未来の子どもたちや従業員とその家族が誇りを持てる会社でありたいと願っています。

主な保有設備

- NC加工機
ROBODRILL α-D14MiA
ファナック製 1台
- 協働ロボット CRX-10iA/L
ファナック製 1台
- プレスプレーキ MBF-1240
富士機工製 1台
- 3Dロボットビジョン CV-X480D
キーエンス製 1台
- 塗装ブース PLB-2S
サンエス工業製 1台



住 所 / 〒572-0077
寝屋川市点野
3-4-3

T E L / 072-829-3560
F A X / 072-829-3561

創 業 / 平成25年4月
設 立 / 平成26年4月
資本金 / 100万円
従業員 / 11名

Sler ●私達がSlerとして目指すところ



展示会での講演や地域貢献にも積極参加

AGV ROBO

Mobile Collaborative Robot

It is Possible to Work While Moving

「AGVロボ」は各分野で注目されている



<https://www.aizrobo.co.jp/>